

5. 単元指導計画

次	1. リットル		2. デシリットルとミリリットル			3. まとめよう
時	1. (本時) 2	3.	4.	5.	6.	7.
ねらい	2つのかさの大きさを比較する方法として直接比較・間接比較・任意単位による比較などを考えて操作し、根拠をはっきりさせて、2つの入れ物のかさの大きさを判定することができる。また、それぞれのやり方の良さに気づくことができる。	2つの入れ物のかさの大きさを判定する時に、任意単位を用いれば数値化できるという良さが分かり、普遍単位であるlを知って、それを用いて水のかさをあらわすことができる。	1lますのはしたのかさの表し方を考える中で、1lを同じかさに10個に分けた1つ分のかさが1dlであることを知り、1dlますを使って1lますをいっぱいにする活動を通して1l = 10dlという関係を理解する。	1lますと1dlますの適当な方を用いて、何杯分かを調べる活動を通して、いろいろな入れ物に入る水のかさを測定することができる。	かさの単位mlを知り、入れ物に入っている1000mlの水を1lますにうつす活動を通して、1l = 1000mlの関係を知り、200mlの水を1dlますにうつす活動を通して1dl = 100mlの関係を理解する。	
主な学習活動	<p>問題</p> <p>2つのバケツがあります。水がたくさん入るバケツを買いたいのですが、どちらのバケツを買えばいいでしょうか。</p> <p>課題</p> <p>どちらがたくさん入るか比べる方法を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に決めた比べ方でやる。 ・比べ方とその結果、その結果から得られる結論を分かりやすく表現する。(グループ毎に) 	<p>問題</p> <p>2つのバケツがあります。バケツに入る水のかさはどれだけ多いでしょう。</p> <p>課題</p> <p>どれだけ多いか調べてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任意単位を用いて、かさを数値化する。 ・普遍単位であるlを知って、それを用いて水のかさを表す。 	<p>問題</p> <p>ジュースのかさはどれだけでしょう。</p> <p>課題</p> <p>はしたのかさの表し方を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1lを同じかさに10個に分けた1つ分のかさが1dlであることを知る。 ・1dlますで1lますをいっぱいにする活動を通して、1l = 10dlという関係をとらえる。 	<p>問題</p> <p>入れ物に入る水のかさを調べよう。</p> <p>課題</p> <p>1lますと1dlますをうまく使って調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1lますと1dlますを使って水のかさを測定する。 ・簡単な加減計算をする。 	<p>問題</p> <p>1lますに入っているジュースと1000mlの入れ物に入っているジュースがあります。多い方を買おうと思いますがどちらを買うといいでしょうか。</p> <p>課題</p> <p>どちらが多く入っているか調べてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方を他方に移しかえるという活動をする。 	
関心意欲	2つの入れ物のかさの大きさを意欲的に比べようとする。	2つの入れ物のかさの違いを意欲的に調べようとする。	はしたのかさの表し方を考えようとする。	1lますや1dlますを用いて入れ物に入る水のかさを調べようとする。	2つの入れ物のかさの大きさを意欲的に調べようとする。	進んで問題に取り組もうとする。
考え方	直接比較・間接比較・任意単位による比較を考えることができる。	任意単位や普遍単位を使った数値化による比較を考えることができる	1cm = 10mmと同様に1lを同じかさに10個にわけた1つ分のかさを考えることができる。	どちらのますを使うとより便利かを考えながら何杯分かを調べることによるかさを測定できると考えることができる。	直接比較による操作で等しいことを見つけ、それから1l = 1000ml、1dl = 100mlとらえることができる。	容器の大きさを想起させてかさの単位を考えることができる。
表現処理	根拠をはっきりさせて、大小の判定することができる。	任意単位や普遍単位によって数値化ができる。	dlの単位を用いて、はしたのかさを表すことができる。	1lますや1dlますを用いて入れ物に入る水のかさを測定することができる。	一方を他方に移しかえる活動からかさの大きさをつかむことができる。	1lますを用いた水のかさを表現することができる。
知識理解	かさの大きさを比べるにはいろいろな方法があることが分かる。	任意単位や普遍単位による数値化をすればかさがどれだけ多いか知ることが分かる。	dlの単位を用いればはしたのかさを表すことができることが分かる。1l = 10dlの関係が分かる。	1lますや1dlますを用いて何杯分かを調べればかさを測定できることがわかる。	1l = 1000ml、1dl = 100mlの関係が分かる。	1l = 10dlの関係を理解して、かさの大きさを判定できることが分かる。
算数的活動	バケツ、水そう、入れ物などを用いてかさの大きさを比べる。	任意単位や普遍単位を用いてかさの大小と違いを調べる。	1dlますで1lますをいっぱいにする活動を通して1l = 10dlという関係をつかむ。	1lますや1dlますを用いて、いろいろな入れ物に入る水のかさを測定する。	一方を他方に移しかえるという活動を通して1l = 1000ml、1dl = 100mlの関係をつかむ。	